

(案)

令和7年度 大阪市障がい者等基礎調査 精神科病院入院者を対象とした調査について

1. 調査目的

「大阪市障がい者支援計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」の策定にあたり、障がい者地域移行の促進などに向け、障がい者のニーズを把握するとともに、障がい福祉サービスなどの計画的な基盤整備を進めるための基礎調査資料を得ることを目的とする。

2. 調査対象

大阪府下の精神科病院において、入院前の住所が大阪市内であり、調査時点で入院中の 18歳以上の方

3. 調査期間

令和7年11月～12月（大阪市障がい者等基礎調査と同時実施）

4. 調査実施方法

(1) アンケート送付数（標本数）…1,500人

【考え方】

- ・入院者数 約3,000人（令和5年6月末現在）
- ・約3,000人に対する統計学上の必要標本数 ⇒ 約300人
- ・従前からの基礎調査項目における最低回収率 ⇒ 約20%
- ・アンケート配付数＝300人÷20%＝1,500人

(2) 対象病院数…16病院（58病院中）

【考え方】

- ・初めての取り組みであり、病院への説明を丁寧に行うため、病院数を絞る
- ・入院者数の多い病院から、長期入院者数の割合が概ね50%以上の病院を選定し、その合計が1,500人に達するまでを対象とする
- ・対象予定病院…藍野花園病院、青葉丘病院、浅香山病院、榎坂病院、小曾根病院、貝塚中央病院、金岡中央病院、木島病院、久米田病院、京阪病院、七山病院、丹比荘病院、浜寺病院、阪和いずみ病院、水間病院、美原病院

※ 下線斜字体追加。小阪病院、さわ病院、阪南病院は除外。

(3) 送付・回収方法

- ・病院へ一括で郵送（依頼書・アンケート） ※対象医療機関へは事前説明予定
- ・回答については、返信用封筒により個別に提出

(4) 調査項目

別添参照